

2022年 冬号

みどりのまど



フリモライフラリーはむら
(はむらしとしょかん)

☎042-554-2280

ていがくねん む
低学年向け

おとうとのたからもの



小手鞠 るい 作 すずき みほ 絵

岩崎書店
913/コ

あおいちゃんのおとうとは絵本が^{えほん}大^{だい}すき。いつも絵本をよんでいて、あおいちゃんとあそんで^{あそ}んでくれない。なぜでねこんでしまった^{とき}でも、絵本をにぎりしめている。でもそれには、りゆうがあって…。

くまのこのるうくんとおばけのこ



東 直子 作 吉田 尚令 画

くもん出版
913/ヒ

るうくんはある^ひ日、おばけのこ^{てあ}と^{やま}出会^あいっしょに山にのぼることにしました。とちゅう、わかれ^{みち}道にさしかかり、べつべつの道をすすんでちょうじょうで会おうとやくそくします。さて、ふたりはぶじに出会えるのでしょうか。

いもうとなんかいらない



ロイス・ダンカン 作
小宮 由 訳 平澤 朋子 絵

岩波書店
933/ダ

いつもついてきて、なんでもまねをするいもうと。かわいいけど、かわいくない！おねえさんだからって、がまんしなくちゃいけないなんてもういや。そうだ。だれかにあげちゃおう！でも、そんなのうまくいくのかな？

ともだちはおりのこぶた



真山 みな子 作 山西 ゲンイチ 絵

金の星社
913/マ

「ぷーもん」は、ほんやさんでもらった「しおり」にかかれたこぶたのえ。赤^{あか}ちゃんをうむためににゅういんしちやったママによんでもらっていた本にはさんでいる。つづきがしりたくてひとりでもらっていたら、あらふしぎ…「しおり」からかわいいこぶたがとび出てきたよ！

ちゅうがくねん む
中学年向け

あっちもこっちもこの世はもれなく



いとう みく 作 ころりよ 絵

PHP研究所
913/イ

こうた せ ひく なかよ きらり
公太は背が低い。バレーボールがきっかけで仲良しになった希来里
は背が高くてカントクにも期待されている。背を高くする努力をか
かさない公太だったが、何もしなくても背が高い希来里がうらやま
しかった。これって不公平じゃない？だけど、希来里にも悩みがあ
ることを知り…

ぼくの犬スーズン



ニコラ・デイビス 文
千葉 茂樹 訳 垂石 眞子 絵

あすなる書房
933/デ

みなさんは犬が好きですか？どうぶつ好きのジェイクは犬が好き。だ
けどクリスマスは大きい。ライトはチカチカするし、クリスマスソ
ングはうるさいから。でもぐうぜんであった犬のスーズンといると
大丈夫みたい。どうしてかな？

海をわたる動物園



いちかわ けいこ 作 村田 夏佳 絵

アリス館
913/イ

だいがくせい せんそう どうぶつえん
大学生のシュンは、戦争でからっぽになった動物園に、アフリカか
ら日本へ船で動物たちを運ぶ手伝いをするようになった。長い船の
旅で、弱っていく60頭の動物の世話をしながら、どうやって日本
に帰ってこられたのか。本当にあったお話。

大坂城のシロ



あんず ゆき 著 中川 学 絵

くもん出版
913/ア

とよみひでよし てんか と じだい ちち いぬ ます
豊臣秀吉が天下を取った時代。サチは父や犬のシロと貧しくても
しあわ ひび ひ むら ひろ
幸せな日々をすごしていた。ある日、村にうわさが広がった。
おおさかじょう おお とら まちじゅう あつ
大坂城に大きな虎がいて、そのえさに町中の犬が集められてい
るという。サチはシロを逃がそうとしたが、とうとう犬集めの
やくにん
役人につかまってしまい…

こうがくねんむ
高学年向け

病院図書館の青と空



令丈 ヒロ子 著

講談社

913/レ

そらはほんがだいすき。入院している病院の図書館で、本を見ていると、本からあまくていいにおいがしてきた。さし絵の中のクッキーが焼けるにおいだ。しかも、さし絵の中から女の子が話しかけてきて、気づいたら空花は本の中に入ってしまった。

江戸の空見師嵐太郎



佐和 みずえ 作

しまざき ジョゼ 絵

フレーベル館

913/サ

「空見師」とは、江戸時代に天気を予測する人たちのこと。空見の勉強をしている十二歳の少年、嵐太郎のもとに、幕府の天文方につとめているという男が訪ねてきた。嵐太郎の空見の力を使い、黒船が日本に現れる日を予測してほしいと頼んできたのだった。

飛べないハトを見つけた日から



クリス・ダレーシー 作

相良 倫子 訳 東郷 なりさ 絵

徳間書店

933/ダ

ダリルは、公園で傷つき動けないハトを見つけた。「レース鳩なのでもういない。」という飼い主のことは聞いて、自分で飼う決心をする。夢中になれるものを見つけた少年が、一羽のハトを通して、成長していくすがたにワクワクさせられる一冊。

たぶんみんなは知らないこと



福田 隆浩 著

しんや ゆう子 画

講談社

913/フ

ねえねえ。なに話してるの？そんなふうに言えればいいんだけど、私はおしゃべりができないから。お口もじょうずにうごかせないし…。重度の知的障害のある女の子「すず」と、お兄ちゃん、同級生、先生、保護者たちなど周りの人をめぐる優しい物語。